

町政を問う

小学校統合の行方は？



八郷小銭太鼓を地元で披露



松原 研一

当初案どおりの全小学校対象の統合か？

教育長 平成二十八年を目標に計画を進めたい

松原 子供の健全育成には、学校・家庭・地域の連携が不可欠。また、子供の存在が地域の活力となっているのも事実。各地域とも小学校とともに築きあげた伝統がある。八郷小学校の銭太鼓もそのひとつである。それから良き伝統が統合により失われるのでは？

八郷小学校は複式学級が発生するまで存続してほしいとの意見があるが？

教育長 地域の活性化に小学校の存在は重要であるが、一方で、社会性習得等、ある程度の集団内での学びの機会も重要である。学校統合は、地域の伝統をより広域に広げるチャンスでもある。

松原 中学校の統合については当面、現状のまま存続すべきと考えるが？

教育長 当面は現行の二校体制を存続する。

教室内へのエアコン設置で教育環境改善を

松原 最近の温暖化に伴う熱中症対策の観点からも各学校教室内へエアコンの設置は不可欠。現在の設置状況は？

教育長 岸小、溝小の一般教室及び全学校の特別教室にはエアコンを設置済み。

他施設についても学校統合の推移を見守りつつ、設置を検討したい。



放課後児童クラブ (溝口小学校)

放課後児童クラブの対象年齢引き上げを

松原 本町でも核家族化が進行する中、将来的に希望があれば5・6年生への対象年齢引き上げは可能か？

町長 現行法では「概ね十歳以下の児童対象」となっているが、本町ではすでに4年生まで対象を拡大している。